

読書週間が始まっています

図書館だより

11月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

○印 休館日
月曜・祝日(3・23日)
臨時休館日(14日)月末館内整理日(29日)

旅人と我名よばれん初雪

芭蕉

地球絶滅人類記1 今泉忠明
現代用語を英語にする 石山宏一
七転び八起き人生訓 内海桂子
旅人・曾良と芭蕉 岡田喜秋
ここに地終わり海始まる 宮本輝
誇り高き週末 赤川次郎
菊亭八百善の人びと 宮尾登美子
この空を飛べたら 中島みゆき
さようなら、婚約者 藤堂志津子
風塵抄 馬場遼太郎
時計をはずして 伊集院 静
ロンドン塔の幽霊たち 綱淵謙錠

江戸深川木場其角亭での吟。
『芭蕉句集』には、「笈の小文の
旅へ出る芭蕉を送った送別の席の
吟」と頭注があります。

今月の新刊図書案内

一般図書

中島らもの

ますます明るい悩み相談室
権力の驕りに抗してフルブライト
シルクロードの開拓者・張騫
神秘のインド大紀行

NHK取材班

日本の繁栄は、揺がない渡部昇一
女性の時代という神話 山下悦子
今田美奈子・お菓子の基本
イタリアを食べる本Pasta 西川治
カントリー・ニット 西村玲子
環境を守る炭と木酢液
炭やきの会
母と子の草木染ノート 山崎青樹
オヤジの出番がやってきた!



第五回図書館子どもまつり

市立図書館では、児童が本に親しむ機会をつくることを目的として、第五回図書館子どもまつりを開催します。

日時 11月17日(日)

午後1時30分～4時

場所 文化会館4階大ホール
参加者 幼児・小学生とその父母
内容 影絵・本の読みかせ
工作ほか

※ 申し込み方法、その他詳細は
保育園、幼稚園、学校を通じて
お知らせします。
問合先 市立図書館

☎(43) 1321

児童図書

日本の野草 (秋)
地球から森が消えていく
かこさとしあそびの大字宙

一〇五

全国方言たんけん
こもりうた
ゆうれい塾は大パニック
鼻がにげた
天才えりちゃん月に行く
ジクザク村のヒーロー
パティの宇宙日記
ともだちくじら
ハローこんにには
にっぽんちず絵本
ねむたくなった

外四十四冊

子どもの心コース (29)

思春期 内気

小学生のころまでは快活で、家に客が来るとよくしゃべったのに思春期になったら急におとなしくなるという子がいます。このようなことは、多くの親が成長していく自分の子に、このような感じをいだくものです。これは異常でも、変わった現象でもないのです。思春期に見られる、普通の現象なのです。

小学生のころまでは主な関心は、外部に向けられ自分自身を深く考えることはそうないのです。中学生になるところから自分の力、性格などが友達に比べてどうなのだろうかと比較して考えるようになり、自分自身をどうみているだろうかとか心配になるのです。こんなことをしたらおかしい子だと思われたいだろうか、きまりが悪い、恥ずかしいと思う事がふえてきます。特に大人をさけるようになるのは、自分が大人の観察の対象になっていないか、また批評されてはいないだろうかと思うようになるからです。

思春期は自分について考え過ぎの傾向がでてくるのです。大人はそれほど、その子のことを注意して見ているわけではないのですが、いつも見られているように思うようになります。「大きくなったね」「ひげが生えて来たね」「女の子らしくなったね」というようなことを気軽にいっても自分のことを注目していると思うのです。このような思春期にいていけないのは、「お前はだめだね」とか「体ばかり大きくなって少しも成長してないね」というようなことです。このようなことで内気な子が劣等感を持つようになるからです。自分自身が不安定で自信のないときにささいな事でも気になるのです。そして大人の目が恐ろしいのです。

このように思春期は内気になって、引っ込み思案で自分の中に閉じこもるのは大人になる前の成長の一つの過程です。

この時期の子に親として知って欲しいのは、このような思春期の子は人を避けていながら、自分をわかってもらえたい人であることをわかってもらうことです。子どもは親を避けたり、大人と口をきかなくなっても、この人は自分をよく分かってくれたいという人には進んでものをいい、心を開くのです。その人が学校の先生であってもよいし、親であってもよいし、兄、姉でもよいのです。この人は信用できるといって一人でもいって、心を開き何でも話をするものです。そういう人のいる子は非行をする前に、問題を起す前に、信じられる人に相談をするものです。

☎(43) 1111

内線216